

死亡災害発生状況(1月把握分)

静岡労働局 健康安全課

令和8年発生分

No	管轄	発生月 発生時間	業種 規模	事故の型 起因物	発生状況
1	富士	1月 12時～13時	パルプ・紙・紙加工品製造業 30～49人	はまれ、巻き込まれ ロール機(印刷ロール機を除く)	被災者は、熱圧加工機のロール(上下に3つ並んでいるもの)を回転(速度不明)させた状態で作業をしていたところ、中央と一番下のロールの間の隙間(約40mm)に巻き込まれ即死した。なお、目撃者はいないが、災害現場に木片(200mm×70mm×30mm)と紙やすりが落ちており、手順書上は当該紙やすりを用いてゴムロール(一番下のロール)を手研磨することとされていた。
2	静岡	1月 15時～16時	建築工事業 10人未満	崩壊、倒壊 建築物・構築物	住宅解体工事において、被災者と同僚の2名でコンクリート造のトイレの壁を解体する作業を行っていた。屋根と三面ある壁のうちの二面を解体後、残りの壁(幅2.2m、高さ2.1m)の下部を研っている際に、壁が被災者の方に倒ってきて、下敷きとなつた。
3	島田	1月 15時～16時	教育・研究業 300人以上	はまれ、巻き込まれ トラック	マイナス15度の環境下における車両からの水漏れが無いかの確認の際、車両前方で下回りからの水漏れがないかを確認していたところ、突然車両が前進、車両と壁の間に挟まれた。挟まれた際の被災者の体勢は不明。
4	静岡	1月 6時～7時	土石採取業 10～29人	はまれ、巻き込まれ コンベア	被災者は、エンドレスベルトの交換作業中、何らかの拍子に粒調ラインのベルトコンベヤー上に転倒し、エンドレスベルトの支持フレーム底部と粒調ラインのベルトコンベヤーの間に挟まれた。 災害発生時は、被災者と同僚の二名で、不具合により切断したエンドレスベルトの引き抜き作業を行っていた。エンドレスベルトを引き抜くとホッパーから砂利がこぼれおちるため、粒調ラインのコンベヤーを運転させていた。